

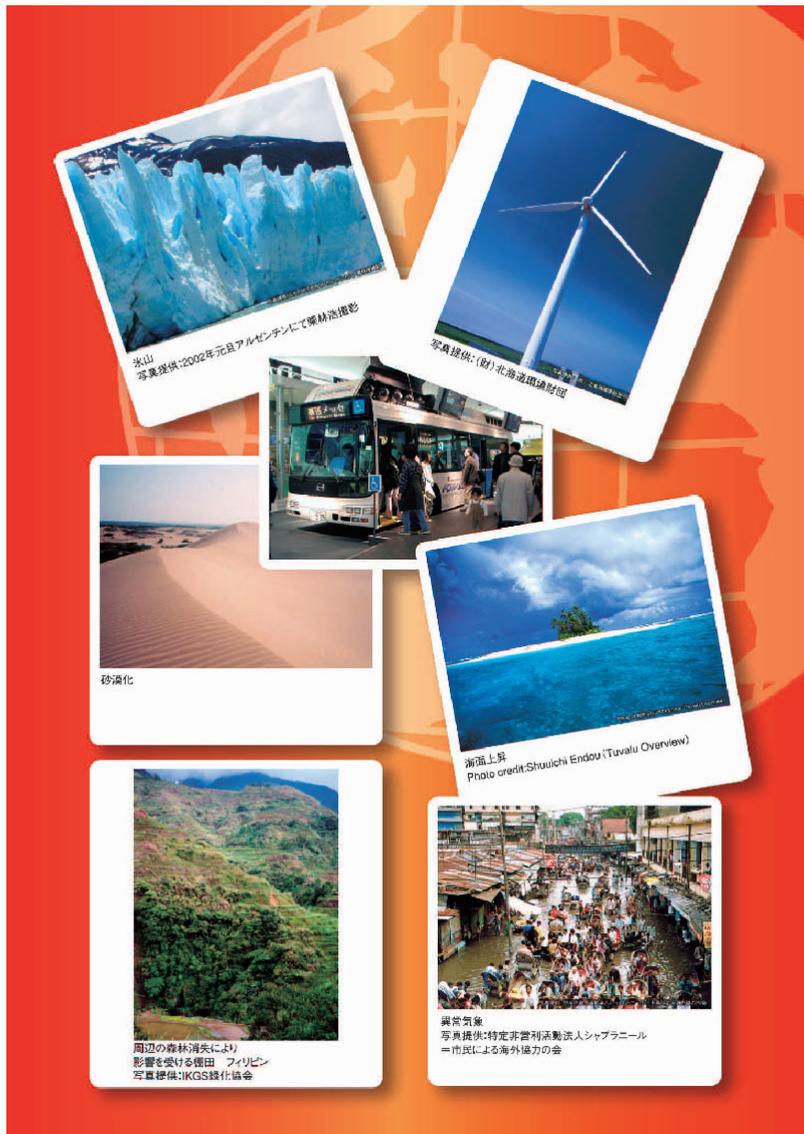


Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人日本環境協会

ニュースレター No.28 2003年2月1日発行



「全国地球温暖化防止活動推進センター」温暖化写真館より

<http://www.jccca.org/education/gazou/>

JEA NEWS No.28 目次

エコマーク情報	2	グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向	5
エコマーク商品の認定基準について	2	「ホテル・旅館」利用ガイドラインの制定	5
文具におけるエコマーク認定商品の市場シェア調査結果	2	地球温暖化防止DVD教材が完成しました	5
「エコマーク取得相談会」開催のお知らせ	3	「こどもエコクラブ」情報	6
アジア4か国相互認証～経過報告～	3	平成15年度全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)について	7
エコマーク周辺情報～グリーン購入法～	3	藤本倫子環境保全活動助成基金交付決定	7
世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向	3	環境研究会「特別講演会」開催報告	7
エコマーク事務局が全面的に編集協力するフリーペーパー「FeEEL」発刊	4	環境カウンセラー情報	8
平成14年度「こども葉っぱ判定士」認定証の発行と壁新聞優秀作品表彰について	4	子ども向けページの新装および温暖化写真ページの新設について	8



エコマーク商品の認定基準について

新しい認定基準(2002年12月18日制定)

No.102「印刷インキVersion2.0」認定基準

旧「オフセット印刷インキ」において認定の対象としていた平版インキ、新聞インキに加え、新たに、特殊グラビアインキや樹脂凸版インキ、UVインキなどが加わりました。今後、様々な印刷の場面で、エコマーク認定インキが活躍します。

No.124「ガラス製品Version1.0」認定基準

ガラスカレット利用率の基準を設けることで、従来リサイクルの進んでいなかった板ガラス、ブラウン管などへの廃ガラスの利用や、その他色カレットのガラスびんへの再生利用を広げることを意図した基準となっています。読者の皆様も、エコマークのガラス製品を積極的に選ぶことで、循環の輪づくりに御協力下さい。

No.125「生ごみ処理機Version1.0」認定基準

旧「生ごみコンポスト化機器」では、生ごみを堆肥化する機器だけを対象にしていたましたが、本基準では、生ごみの乾燥あるいは減量化を目的としたものも対象としています。また、処理機および処理容器は、使用状態によって処理効率などに差があるため、使用のコツなどの情報を、取扱説明書へ記載することを認定の条件としました。上手に使えば、廃棄物の削減に役立ちます。

現在公開中の認定基準(案)

(2003年4月20日制定予定)

「衣服Version2.0」、「家庭用繊維製品Version2.0」、

「工業用繊維製品Version2.0」

認定基準(案)を公表し、ご意見を2月15日(土)まで受け付けています。これまで、エコマークで取り上げてきた未利用繊維や再生PET繊維だけでなく、新たにリサイクル繊維などの使用や引取り・リサイクルシステムの整備を基準に盛り込み、繊維から繊維へのリサイクルに力点を置いた基準としています。

「塗料Version1.0」

認定基準(案)を公表し、ご意見を2月15日(土)まで受け付けています。従来、認定の対象としていなかった工業用塗料などのJIS規格にない分野にまで大幅に対象を広げ、大気汚染防止を一步進めるため、認定基準も強化しました。塗料には、溶剤に揮発性有機化合物(VOC)を使用するものもあり、光化学オキシダントや、今話題の化学物質による過敏症など、健康にも影響があり、今後も、目のなせない分野と言えそうです。

*詳細は当協会ホームページをご参照ください。

エコマーク認定商品数の推移：2002年12月末日現在、エコマーク商品類型は64、認定商品数 合計5,391商品。3ヶ月前に比べ84商品、前年同月比では542商品の増加となっています。

文具におけるエコマーク認定商品の市場シェア調査結果

エコマーク事務局では2002年5月から7月にかけてボールペン、シャープペン、マーキングペン、修正用品、ノートの5品目を対象に「文具におけるエコマーク認定商品の市場シェア調査」を行いました。

その結果、エコマーク認定商品の推定販売金額シェアと前年伸長率は右表のとおりです。

品目全体での市場規模が落ち込んでいるノートを除いて、エコマーク認定商品のシェアは拡大基調にあります。また、品目を問わず、新商品についてはエコマーク取得を前提に発売するメーカーが多いことも判明しました。

	推定販売シェア	対前年伸長率
ボールペン	8.7%	246.1%
シャープペン	11.0%	669.5%
マーキングペン	19.5%	310.5%
修正用品	24.2%	184.4%
ノート*	22.3%	96.9%

*販売金額シェア

報告書の全体はホームページよりダウンロードできます。
<http://www.jeas.or.jp/ecomark/pdf/bung.pdf>

エコマーク商品紹介シリーズリーフレット「発見! あなたの身近にエコマーク」新作登場

同シリーズにNo.8「間伐材等を利用した木製品」が加わりました。このシリーズでは商品分野ごとにエコマーク商品の背景にある環境問題や環境保全上の効果を

データなどで情報提供しています。

ご希望の方は、エコマーク事務局までお問合せください。

「エコマーク取得相談会」開催のお知らせ

下記の要領で、エコマーク取得相談会を開催します。
今回から「新規商品類型提案」に関する相談も受ける
ことになりました。申込締切日2月7日。先着順。

日 時：平成15年2月21日(金)

①11:00～12:00 ②13:00～17:00

会 場：ATCグリーンエコプラザ(大阪市住之江区)
(ATC：アジア太平洋トレードセンター)

内 容：

- ・エコマーク認定申込に関する個別相談
 - ・認定申込をされる製品が該当する商品類型がない場合の「新規商品類型提案」に関する相談
- 相談料：無料(要申込)
申込先：FAX03-3508-2656(担当 漣(さざなみ))

アジア4か国相互認証～経過報告～

昨年4月より検討を開始したタイ、日本、台湾、韓国
のアジア4か国のエコラベル制度での「塗料」と「トナー
カートリッジ」に関する相互認証認定基準案について、

2002年9月に韓国・ソウルで、2003年1月に東京でそれ
ぞれ4か国担当者による会合を行いました。現在、相互
認証の基準などの調整を行っています。

エコマーク周辺情報～グリーン購入法～

国等の機関が率先してグリーン購入を推進するため
のグリーン購入法(正式名：国等による環境物品等の調
達の推進等に関する法律)が平成13年度より施行されて
います。この法律で定められる特定調達品目とその判
断基準などは毎年見直しながされ、15年度についての

パブリックコメント募集が行われました。

<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/index.html>

また、現在の特定調達品目とエコマーク商品との対
比表があります。ご希望の方はエコマーク事務局まで
お問い合わせください。



世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)の動向

会員年次総会およびコンファレンスの報告

GENでは2002年10月29日(火)～11月2日(土)、台湾
でコンファレンスおよび年次総会を開催しました。コン
ファレンスでエコマークは、「アジア4か国相互認証」
に関する発表などを行ったほか、会場ロビーでの世界
のエコラベル商品展示に出展しました。

年次総会では、会員間の協力、他国際機関への協力
や働きかけ、GENの長期的展開などについて話し合わ

れました。エコマークは、北欧ノルディックスワンと
の「複写機」の「部分相互認証」に関する報告や、エコラ
ベルに関する世界共通化学物質データベースについて
発表・提案を行いました。データベースは今後とも充
実させていく予定です。

GENホームページ：<http://www.gen.gr.jp>

世界のエコラベル～GEN会員機関紹介～No.2

エコラベル制度はどこで生まれたか、みなさん、
ご存知ですか？今号では世界第一号のエコラベル制度
であるドイツのブルーエンジェルをご紹介します。



ブルーエンジェル
(ドイツ)

ブルーエンジェルは、設立か
ら25年目を迎え、今年盛大な
記念行事を計画しています。
ブルーエンジェルはその発足
後、エコマークなど各国で誕
生した制度の大きな手本とな
ってきました。3つの組織で役
割分担をして運営しています。

1. 審査委員会 (Environmental Label Jury)：独
立した意思の最終決定機関で、産業界、科学者、
環境団体、消費者団体、流通などからの代表者
によって構成。

2. 連邦環境庁 (UBA/FEA)：認定基準策定など
の科学的検討と広報を担当。

3. ドイツ品質保証・ラベル協会 (RAL)：非営利
の標準機関で、認定手続きなどの運営実務をド
イツ環境庁からの委託により担っている。

最近では携帯電話や船舶などの新しい商品類
型に取組み、常に刷新を図っています。

http://www.blauer-engel.de/englisch/navigation/body_blauer_engel.htm

- 設立年：1978年
- 運営主体：上記の3組織
- 性格：政府のラベル
- 商品類型数：90(2002年7月22日現在)
- 認定商品数：3395(2002年7月22日現在)

エコマーク事務局が全面的に編集協力するフリーペーパー「FéEEL」発刊

エコマーク事務局が全面的に編集協力するフリーマガジン(無料誌)「FéEEL」が発刊されました。同誌は、「気軽に手にとってもらえること」に主眼を置いたエコマガジンとして、著名人のインタビューなど親しみやすい内容を盛り込んで、新しい「エコロジー・ライフスタイル」を提案しています。昨年12月5日にプレ創刊号が発刊され、東京ビッグサイトで開催されたエコプロダクツや主要都市のファーストフード店やカフェなどで配布され、在庫がなくなってしまうほどの好評を得ました。

ホームページ「FéEEL on WEB」でもご覧いただけます。

<http://channel.slowtrain.org/feel>



フリーペーパー「FéEEL」

平成14年度「こども葉っぱ判定士」認定証の発行と壁新聞優秀作品表彰について

樹木の働きを通して地球温暖化防止の普及啓発を図る「こども葉っぱ判定士」事業(小・中学生対象)を環境省の委託を受け、実施しました。

1) 「こども葉っぱ判定士」認定証の発行

本事業では、パンフレット「地球を守る樹木の働きを調べよう」に記されている5つのステップに従って、学校や庭等の身近な場所で樹木の二酸化炭素の吸収量等の調査を行ないます。日本環境協会に送付された調査結果を確認の上、5,786名の小・中学生に「こども葉っぱ判定士」課程修了の大臣認定証を交付しました。



平成14年度「こども葉っぱ判定士」認定証

2) 壁新聞優秀作品表彰について

パンフレット「地球を守る樹木の働きを調べよう」の調査の内容を発展させた壁新聞もあわせて募集しました。

平成14年度は155作品(小学生部門85作品、中学生部門70作品)の応募がありました。特に優秀と認められた作品を制作したグループに対して、2002年12月25日環境省において鈴木俊一環境大臣より環境大臣賞(小・中学生部門各1作品)が授与されました。あわせて、(財)日本環境協会理事長より(財)日本環境協会理事長賞(小学生部門2作品・中学生部門1作品)の授与も行われました。

受賞作品は、環境省のホームページからご覧いただけます。

ホームページ：<http://www.env.go.jp/kids/happa.html>



鈴木環境大臣より賞状の授与

壁新聞優秀作品 受賞グループ一覧

部門	環境大臣賞		(財)日本環境協会理事長賞	
	小学生部門	中学生部門	小学生部門	中学生部門
グループ名 (所在地)	松戸市立牧野原小学校 6年3組 (千葉県松戸市)	福岡教育大学教育学部 附属小倉中学校 附中グリーンECO プロジェクト (福岡県北九州市)	調布こどもエコクラブ (東京都調布市) 山梨市立加納岩小学校 科学クラブ (山梨県山梨市)	郡山市立湖南中学校 湖南葉っぱ判定士 (福島県郡山市)

第5回グリーン購入大賞 決定!

グリーン購入の優れた取り組みを表彰する「第5回グリーン購入大賞」各賞が決定し、11月13日、中央大学駿河台記念館(東京・御茶ノ水)において表彰式を執り行いました。

当日は、弘友環境副大臣、桜田経済産業大臣政務官からの挨拶に続いて、審査委員長の天野祐吉氏(コラムニスト)より講評と併せて「グリーン購入を推進する環境コミュニケーション」をテーマにお話をいただいたほか、各受賞団体による取り組み内容のプレゼンテーションが行われました。



受賞団体の代表者を囲んだ記念撮影

【第5回グリーン購入大賞 受賞団体】

- 〈環境大臣賞〉 大松土建
- 〈経済産業大臣賞〉 松下電器産業
- 大賞：中小事業者部門 大松土建
- 大賞：事業者部門 松下電器産業
- 大賞：行政部門 福井県
- 大賞：民間団体部門
こども環境活動支援協会
- 準大賞：事業者部門 滋賀銀行
- 優秀賞：コクヨ 東京ガス 油藤商事
北区リサイクラー活動機構
- 審査委員特別賞：オフィス町内会

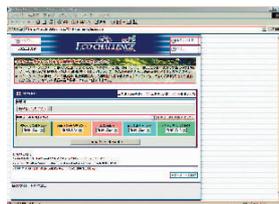
「ホテル・旅館」利用ガイドラインの制定

環境の視点からホテル・旅館を選ぶ国内初の指針「ホテル・旅館」利用ガイドラインを制定いたしました。これにより利用者側には、旅行・出張の宿泊や、会議・研修会場として環境に配慮された施設の優先的利用の推進に、またホテルや旅館側には自らの取り組みの継続的改善に役立てていただけます。内容は以下の5カテゴリ89項目からなるチェックリストで構成されています(カッコ内は項目数)。

- I. 環境への取り組み姿勢(17)
- II. 廃棄物削減・リサイクル(18)
- III. 飲食関連(10)
- IV. 省エネルギー・節水(18)
- V. グリーン購入・化学物質他(26)

「GPNエコチャレンジホテル旅館データベース」開設

GPNはこの「ホテル・旅館」利用ガイドラインに沿って環境に取り組むホテル・旅館の情報を閲覧、検索できるデータベースを構築し、2003年3月にオープンします。各項目に付与した点数をカテゴリごとに合計し、比較可能な一覧表とレーダーチャートで表示するほか、地域、取り組みレベルごとに検索することができます。詳細はGPN事務局へお問い合わせ下さい。



データベーストップページ

GPN事務局 TEL : 03-3406-5155 FAX : 03-3406-5190 ホームページ : <http://www.gpn.jp/>

地球温暖化防止DVD教材が完成しました

環境省は地球温暖化防止のための環境学習DVD教材「知ろう・学ぼう・考えよう地球温暖化」を制作し、10月に希望照会をした全国の自治体、小・中・高校を中心に約8,000部を配布しました。

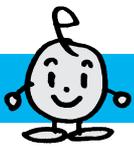


このDVDは地球温暖化の原因とその影響や国内外の防止対策など、テーマごとに3分程度にまとめられており、指導の組み立てが簡単のため、小中学校の環境学習だけではなく、市民講座や環境学習施設でも活用できます。ご利用は、環のくらしホームページ「地球温暖化

防止DVD紹介」<http://www.wanokurashi.ne.jp/kurashi/dvd2002/index.html/>に貸し出し等に対応してくれる機関が掲載されていますのでお近くの機関へお問い合わせください。

また未配布の小中高校及び未配布で積極的にご活用いただける自治体には1団体につき1枚お送りしますので、当協会虎ノ門本部DVD担当へお問合せください。残部には限りがありますのでお早めをお願いします。なお、個人への配布はしていません。

このDVD制作にあたっては、当協会に検討会を設け、環境教育関係者、こどもエコクラブ関係者、環境カウンセラーの方々などにご覧いただき、貴重なご意見を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。



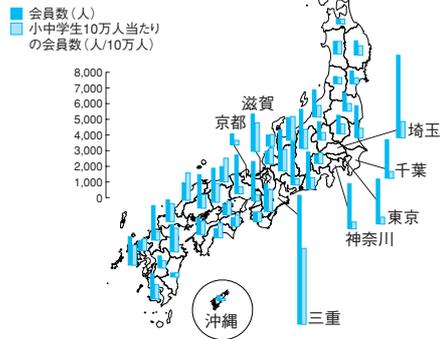
「こどもエコクラブ」情報

こどもエコクラブ事業の広がりについて

こどもエコクラブは環境省の事業で、都道府県・市区町村との連携の下、地域環境・地球環境に関する小中学生の自主的な学習や取り組みを支援するものです。当協会は環境省の委託を受け、こどもエコクラブの全国事務局を担当しています。

初年度(平成7年度)の1,862クラブ・28,435人から、8年目の平成14年度は3,868クラブ・76,033人(12月26日現在)にまで成長し、各地で多彩な活動を展開しています。右図は都道府県別に表示した会員の分布で、小中学生10万人当たりの会員数も示しています。

平成14年度
こどもエコクラブ
会員数状況
(平成14年12月26日現在)



「こどもエコクラブ応援団」について

「こどもエコクラブ応援団」は、こどもエコクラブの趣旨に賛同する、環境保全活動をされている方や専門知識をもっている方に、こどもエコクラブの応援をいただくしくみです。

平成13年度にスタートした「こどもエコクラブ応援団」は今年度で2年目を迎え、現在276人の方が登録されています。電話などによる活動アドバイス、子どもたちと一緒にフィールドに出る活動などいろいろな形で応援いただいています。

「こどもエコクラブ応援団」に興味のある方は、こどもエコクラブ全国事務局までお問い合わせください。

こどもエコクラブ応援団の 応援事例

－茨城県水戸市 水野美恵子さん－

茨城県の「こどもエコクラブサポーター研修会」で、コーディネーターさんから「こどもエコクラブ応援団」としての企画を依頼されました。サポーターさんたちが楽しみながら何かを感じてもらえるような自然観察会を他の応援団員と一緒に計画し、「五感発見プリント」を使ったフィールドワークや「私の木探し」などを行いました。

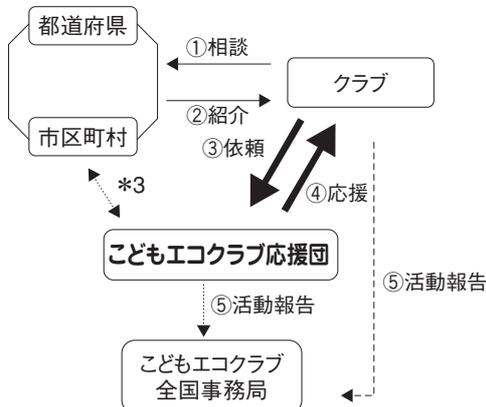
応援団員として活動をしてみて、自然を感じながら人と楽しく関わることは、「自分育ち」にもつながるとあらためて感じました。また、小さな気づきを発見できる感動や喜びを忘れることなく楽しく活動していれば、自然に地球と仲良くなれるのだと思いました。これからもいろいろなご相談をお待ちしています。



「こどもエコクラブニュースforサポーターズ&コーディネーターズ」
2002年秋号より編集

こどもエコクラブ応援団のしくみ

- ①相談 サポーター*1がコーディネーター*2に相談。
- ②紹介 コーディネーターは、サポーターの要望にもとづき応援団員を紹介。
- ③依頼 サポーターが応援団員に直接連絡。
- ④応援 サポーターと内容・日程・条件等を相談のうえ、応援団員が活動のアドバイスや実際の活動を指導。
- ⑤報告 応援いただいた活動内容を全国事務局に報告。



*1 子どもたちの自主的な活動をサポートする大人。
(こどもエコクラブ全国事務局や市区町村事務局との連絡を担います)
*2 市区町村及び都道府県の担当者。
*3 コーディネーターとこどもエコクラブ応援団員との間の相談や情報提供などの相互のやりとり。

〈お問い合わせ先〉

(財)日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局
<http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/>

平成15年度全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク) について

星空観察という身近な方法によって、大気環境や公害問題に関心を持ってもらう「全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)」は、昭和63年に始まり、平成15年で16年目を迎えます。この間、多くの方にご参加していただき、ありがとうございました。

平成15年度の観察は、下記の通り予定しています。多くの方の参加をお待ちしております！

夏期：2003年7月19日(土)～8月1日(金)

冬期：2004年1月11日(日)～1月24日(土)

参加方法等については、都道府県・政令指定都市・中核市の大気環境担当部局までお問い合わせください。

また全国星空継続観察の詳細については、ホームページからご覧いただけます。

ホームページ：<http://www.env.go.jp/kids/star.html>

スターウォッチングは、平成14年度夏期より、国立天文台の後援を受け、スター・ウィークとの関係をはかっています。

国立天文台スター・ウィークホームページ：
<http://www.nao.ac.jp/pio/starweek/>

藤本倫子環境保全活動助成基金交付決定

藤本倫子環境保全活動助成基金では、第2回の審査の結果、以下の団体に交付することが決まりました。

団体名	活動地域	事業内容
豊穰の郷赤野井湾流域協議会	滋賀県守山市 (琵琶湖周辺)	「世界水フォーラム」in守山 ミニセミナーシリーズ及び水質調査

この基金は、環境保全活動などの活動資金の一部を団体又は個人を対象に助成する事業です。

【交付条件】

1. 活動が継続的で、かつ、活動が一定の広がりのある内容であること。
2. 基金を助成することにより、より活発で効果的な活動が期待できること。

上記の条件等を交付の対象としています。

※藤本倫子環境保全活動助成基金の詳細およびこれまで交付された団体については、当協会のホームページをご覧ください。

お知らせ…2003年4月よりあらたに募集受付を開始します。ご応募お待ちしております。

環境研究会「特別講演会」開催報告

昨年12月19日、東海大学校友会館にて環境研究会「特別講演会」が開催されました。演題は「土壌汚染対策法施行へ向けて」(講師：環境省土壌環境課課長補佐 荒木真一氏)「グリーン購入の現状と未来」(講師：同志社大学経済学部教授 郡嶋孝氏)。

荒木氏は、土壌汚染が近年の土地再開発により顕在化する例が増えていること、大気や水と違い土壌の多くが私的財産であるため採取しづらく、汚染調査には困難が伴うことを指摘。また従来知られていた地下水汚染に加え、ダイオキシン問題により浮上した子どもたちの「土壌直接摂取」という問題も本法律では取り扱われていること、さらに調査機関の指定や具体的な測定方法、汚染原因者ではない土地所有者への助成など、政省令の最新の整備状況を話されました。

郡嶋氏は、まずグリーンコンシューマーの理論的背景や、欧米各国の例を挙げて、小さいが確かに存在するグリーン市場の可能性を示されました。また日本のグリーンコンシューマーは、環境面だけでなく価格・品質を満たしたいと考えるグリーディ(欲ばりな)コンシューマーであり、かつ提供される商品情報の信頼性を求めるという2つの軸を揺れ動く不安定な存在であることを指摘。その上でいかにグリーン市場を拡大していくか、政府介入によるトップランナー方式や、グリーン購入義務化などの新説も披露いただきました。

「特別講演会」は会員以外の方も有料にて参加いただけます。開催案内をご希望の方は環境研究会担当まで。

環境研究会ホームページ：
<http://www.jeas.or.jp/member.html>

環境カウンセラー情報

平成14年度環境カウンセラー申請状況

平成14年度環境カウンセラー申請が昨年9月に行われ、743名(事業者部門414名、市民部門329名)の申請がありました。

環境カウンセラー登録者

現在の環境カウンセラー登録者数は2955名(事業者部門1832名、市民部門1123名)となっています。

(右図参照2003年1月1日現在)

環境カウンセラー登録者数(平成8~13年度登録)

(単位:人)

登録年度	事業者	市民	合計
平成8年度	645	306	951
平成9年度	315	168	483
平成10年度	274	175	449
平成11年度	154	146	300
平成12年度	221	135	356
平成13年度	223	193	416
合計	1832	1123	2955

環境カウンセラーとは…?

市民活動や事業活動の中での環境保全に関わる取組について豊富な実績や経験を有し、環境保全に取り組む市民団体や事業者等に対してきめ細かな助言等を行うことのできる人材です。

環境カウンセラーに関する情報 <http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>

活動紹介 No.2

【事業者部門 杉本正威さん】

「川口市 環境フォーラムの開催」

川口市環境基本計画策定市民会議の委員として環境フォーラムをジャスコ川口店で開催しました。

ケナフの紙作りに関する説明や総合学習、写真等の展示、実験コーナー、クイズなどを行い、市民一人一人が身近なことから環境に興味を持ち取り組めるような内容としました。市の広報や新聞等で案内したところ、2日間で約2000人も参加者がありました。今後もさらに多くの人に取り組んでいけるような活動を行いたいと思います。



子ども向けページの新装および温暖化写真ページの新設について

全国地球温暖化防止活動推進センターのホームページでは、こどもたちに地球温暖化防止についてよりよく知ってもらうために、こどものページを「こどもプラザ」として新装しました。その中に「セイウチおじいさんに教えてもらおう」(<http://www.jccca.org/find/kids/question>)を開設しました。これは動物のこどもたちがセイウチおじいさんに地球温暖化について教えてもらうという内容で、楽しみながら温暖化について学べるようになっています。

また、地球温暖化についての写真を集めたページ「温暖化写真館」(今号の表紙を参照)

(<http://www.jcca.org/education/gazou/>)を新設しました。この写真は地球温暖化問題の解説や対策の普及等にご活用いただけます。(ただし、商業目的等のご使用はご遠慮いただいております。使用にあたっては「はじめに」をよくお読みください。)

全国地球温暖化防止活動推進センター

TEL : 03-3406-5010

FAX : 03-3406-5190

ホームページ : <http://www.jccca.org>

編集・発行/財団法人日本環境協会 <http://www.jeas.or.jp>

虎ノ門本部 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル7階

(協会)
(エコマーク事務局 認証課)
(エコマーク事務局 基準課、普及課、GEN総務事務局)
(こども環境相談室)

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2階

(全国地球温暖化防止活動推進センター)
(GPN)

TEL.03-3508-2651 FAX.03-3508-2570

TEL.03-3508-2653 FAX.03-3508-2656

TEL.03-3508-2662 FAX.03-3508-2656

TEL.03-3508-2658 FAX.03-3508-2570

TEL.03-3406-5010 FAX.03-3406-5190

TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190

